安全データシート

Copyright,2013,３M Company
All right reserved.
この安全データシートに記載した情報は、３Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

MSDS No.:	11-6516-6	**版**	7.00
発行日	2013/02/26	**前発行日**	2010/04/22

このデータシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
ジェットメルトＴM接着剤 EC-3768 / 3748-V0-TC / 3748-V0-PG / 3748-V0-Q(JA-7424)

３M ストックナンバー
62-3768-7232-1　62-3768-7234-7　62-3768-9132-1　62-3768-9330-1　62-3768-9830-0

会社情報

供給者	住友スリーエム株式会社
所在地	本社　東京都世田谷区玉川台2-33-1
担当部門	テープ・接着剤製品事業部技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
発がん性： 区分２
急性水生有害性： 区分２
水生環境慢性有害性： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
健康有害性　環境

ピクトグラム

危険有害性情報

H351	発がんのおそれの疑い。
H373	長期暴露又は反復暴露による臓器障害のおそれ： 皮膚
H401	水生生物に有毒。
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P281	指定された個人用保護具を使用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

2.3 その他の有害性

熱傷を起こすことがある。　溶融物の皮膚への付着を避ける。蒸気が眼に直接ばく露しないようにする。
溶融物が皮膚に付着した場合には、冷水ですすぎ、清潔な布で覆う。溶融物を取り除いてはならない。やけど部位は医師の処置を受ける。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
非晶性ポリプロピレン共重合体	9010-79-1	15 - 40
炭化水素樹脂	69430-35-9	10 - 30
臭素系難燃剤	32588-76-4	10 - 30
スチレンブタジエンポリマー	66070-58-4	7 - 13
ポリエチレン	9002-88-4	5 - 10
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	3 - 7

パラフィンワックス	8002-74-2	１ － ５
ポリオレフィン混合物	9003-07-0	１ － ５

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の冷水で15分間以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに大量の水で、少なくとも１５分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
炭化水素類	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中
アンチモン酸化物	燃焼中

特有の消火方法
異常な火災や爆発の危険性は考えられない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域より退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。
物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　残さを清掃する。　容器を密封する。
回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
熱している材料に触れないこと。　工業用又は専門家用に使用を限定する。
作業服は他の衣類や食品、タバコと別に保管する。
安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼，皮膚，衣類につけないこと。
この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後は手指をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。　指定された個人保護具を使用する。

保管
日光から遮断すること。　熱から離して貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
アンチモン化合物	1309-64-4	ACGIH	TWA（スズとして）：0.5 mg/m3	
酸化アンチモン（３＋）	1309-64-4	JSOH OELs	TWA（スズとして）（８時間）：0.1 mg/m3	
三酸化アンチモン化合物	1309-64-4	ACGIH	限界値は未設定	全暴露量を可能な限り低減させる
パラフィンワックス	8002-74-2	ACGIH	TWA(ヒュームとして):2 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

推奨する眼の保護具： サイドシールド付安全メガネ
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

暴露評価に準じた手袋と保護衣を使用する。手袋と保護衣については使用状況に適した材質であるかどうかをメーカーに訊く。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、呼吸保護具が必要な程度の粉塵暴露は予想されない。

熱危険性
やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状態:	棒状。
形状、色、臭い	淡黄色、わずかに樹脂臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない。*
融点・凝固点	*適用しない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない。*
引火点	280 °C［*試験方法：*クリーブランド開放式］
蒸発速度	*適用しない。*
引火性（固体、ガス）	区分されない。
燃焼点（下限）	*適用しない。*
燃焼点（上限）	*適用しない。*
蒸気密度	なし。
密度	1.09 g/cm3
比重	1.09 ［*参照規格：*水=1］
溶解度	なし。

溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	330 °C
分解温度	*データはない。*
粘度	*適用しない。*
大気汚染物質	0 濃度（あるいは含有率）［*試験方法：*計算値］
揮発性有機化合物	0 g/l［*詳細：*EU VOC含有量。］
揮発分	0 濃度（あるいは含有率）
有機溶剤を含まない水と規制除外の溶剤（JIS－GHSの要求項目ではない）	0 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
有機溶剤を含まない水と規制除外の溶剤（JIS－GHSの要求項目ではない）	0 lb/gal［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
有機溶剤を含まない水と規制除外の溶剤（JIS－GHSの要求項目ではない）	0 % ［*試験方法：*カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出］
固形分	100 %

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。
また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分の暴露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、暴露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

暴露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合
加熱中：
熱傷（高温体との接触による熱的）：症状は激しい痛み、発赤、腫脹、組織の破壊
加熱したものから発生する蒸気は、目を刺激することがある。

皮膚に付着した場合
加熱中：
皮膚熱傷（高温体との接触による熱的）：症状は熱傷痛、皮膚の発赤と腫脹、水疱を含むことがある。
皮膚との接触後、標的臓器への影響の恐れがある。

吸入した場合
加熱したものから発生する蒸気は、呼吸器系を刺激することがある。

飲み込んだ場合
物理的閉塞：症状は腹部痙攣、腹痛、便秘を含む。

標的臓器への影響

長時間又は反復暴露した場合：
飲み込みによる長期ないし反復暴露の恐れ：
皮膚へに発赤、かゆみ、吹き出物、腫れ物の症状を呈することがある

発がん性
発がん性のある化学物質を単体あるいは混合物として含むことがある。

毒性データ

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		分類にデータが利用できない、あるいは不足している：ATEで計算。5,000 mg/kg
非晶性ポリプロピレン共重合体	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
非晶性ポリプロピレン共重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
臭素系難燃剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
臭素系難燃剤	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 50.8 mg/l
臭素系難燃剤	経口摂取	ラット	LD50 > 7,500 mg/kg
炭化水素樹脂	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭化水素樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
スチレンブタジエンポリマー	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ポリエチレン	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化アンチモン（３＋）	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,685 mg/kg
酸化アンチモン（３＋）	吸入－粉塵/ミスト	ラット	LC50 > 2.76 mg/l

	(4 時間)		
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	ラット	LD50 > 34,600 mg/kg
パラフィンワックス	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
パラフィンワックス	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリオレフィン混合物	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体		刺激性なし
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
酸化アンチモン（３＋）	ヒト及び動物	わずかな刺激
パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物		刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体		刺激性なし
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
酸化アンチモン（３＋）	ウサギ	軽度の刺激
パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
酸化アンチモン（３＋）	ヒト	感作性なし

パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物		感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
酸化アンチモン（３＋）		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
酸化アンチモン（３＋）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
臭素系難燃剤			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
炭化水素樹脂			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
スチレンブタジエンポリマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリエチレン	特段の規定はない。		陽性データはあるが、分類には不十分。

酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合		発がん性
パラフィンワックス			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。
ポリオレフィン混合物	特段の規定はない。		陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	暴露期間
非晶性ポリプロピレン共重合体		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
臭素系難燃剤		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
炭化水素樹脂		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
スチレンブタジエンポリマー		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリエチレン		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ラット	LOAEL 0.25 mg/l	交配前および妊娠中。
パラフィンワックス		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリオレフィン混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

標的臓器への効果

特定標的臓器毒性、単回暴露

名称	経路	標的臓器への効果	値又は判定結果	生物種	試験結果	暴露期間
非晶性ポリプロピレン共重合体			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
臭素系難燃剤			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
炭化水素樹脂			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

スチレンブタジエンポリマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリエチレン			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
パラフィンワックス			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリオレフィン混合物			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

特定標的臓器毒性、反復暴露

名称	経路	標的臓器への効果	値又は判定結果	生物種	試験結果	暴露期間
非晶性ポリプロピレン共重合体			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
臭素系難燃剤			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
炭化水素樹脂			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
スチレンブタジエンポリマー			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリエチレン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 該当なし。	
ポリエチレン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。		LOEL 13,500 ppm	
酸化アンチモン（３＋）	皮膚	皮膚	長期あるいは反復暴露により組織に悪影響を及ぼす。		NOAEL 該当なし。	
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	肺線維症	長期暴露又は反復暴露による臓器障害のおそれ		LOAEL 0.002 mg/l	
酸化アンチモン（３＋	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	1 年

)			不十分。			
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	血液	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL .004 mg/l	非該当
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 0.01 mg/l	職業性被ばく
酸化アンチモン（３＋）	吸入した場合	心臓	全て陰性	ラット	NOAEL 0.02 mg/l	1 年
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	血液 ｜ 肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/day	非該当
酸化アンチモン（３＋）	経口摂取	心臓	全て陰性	ラット	NOAEL 非該当	非該当
パラフィンワックス			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリオレフィン混合物			分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
非晶性ポリプロピレン共重合体	吸入毒性はない。
臭素系難燃剤	吸入毒性はない。
炭化水素樹脂	吸入毒性はない。
スチレンブタジエンポリマー	吸入毒性はない。
ポリエチレン	吸入毒性はない。
酸化アンチモン（３＋）	吸入毒性はない。
パラフィンワックス	吸入毒性はない。
ポリオレフィン混合物	吸入毒性はない。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。
セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分の暴露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水性毒性（急性）
GHS急性２：水生生物に毒性。

水性毒性（慢性）
GHS慢性２：長期的影響により水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。
成分についての試験データはない。

残留性・分解性
試験データはない。

生体蓄積性
試験データはない。

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。
取扱い及び保管上の注意欄に述べられていた一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

		法規名	
成分	**安衛法通知政令番号**	**ＰＲＴＲ政令番号**	**毒物及び劇物取締法**
酸化アンチモン（３＋）	38 （アンチモンおよびアンチモン化合物）	第１種31 （アンチモンおよびその化合物）	該当なし。
パラフィンワックス	170（固形パラフィン）	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
ＰＲＴＲ法：第１種指定化学物質
消防法：指定可燃物（合成樹脂類　その他のもの　3000kg）

16. その他の情報

改訂情報
版改訂の情報はない。

免責事項：この製品安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、製品安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本シートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

３MジャパングループのMSDSは日本のウェブサイトから入手できます。